

## 第1問

### 問1

- (a) Environmental Change(s)
- (b) Population

### 問2

- (c) 11,073

### 問3

- (1) 65
- (2) 35.4
- (3) 3,920

### 問4

- (d) 長寿化
- (e) 一様

### 問5

- (4) 後期高齢者

### 問6

- (5) 三大都市圏の2040年の割合が2020年に比べわずかながら低下しているのに対し、それ以外の地域では、2020年に比べ2040年の割合が6.2ポイント上昇している。

### 問7

- (f) 広島市、岡山市

### 問8

- (6) 4
- (7) 354

### 問9

- (8) 多くの自治体が、高齢者が減少するにもかかわらず、高齢化率が上昇し続けることになる。

### 問10

- (9) 増加することで高齢化率が上昇する
- (10) 相対的に高齢化率が上昇する

## 第2問

### 問1

万能

### 問2

ウ

### 問3

#### 【採点のポイント】

下記の点にふれているかどうか

- 自然科学における実証分析の多くは、再現可能性を検証できる。
- 自然科学における実証分析の多くは、処置群とコントロール群とをランダムに割り振ることができる。
- 社会科学における実証分析の多くは、再現可能性を検証できない。
- 社会科学における実証分析の多くは、処置群とコントロール群がランダムに割り振られているとは限らない。

### 問4

存在、発生など

### 問5

C

### 問6

A 処置群 B 処置群 C コントロール群